

ネイチャー・ウォーク

令和6年6月
2024.6.23発行
(通巻第366号)

ECO  SAITAMA

公益財団法人
埼玉県生態系保護協会

部会：自然を歩く会

■5月のネイチャー・ウォーク

ウキウキ～綾瀬川に沿って～

東武伊勢崎線新田駅～JR 武蔵野線・埼玉スタジアム線東川口駅

2024年5月26日(日)のネイチャーは、草加市～川口市にかけて、綾瀬川沿いを歩きました。しばらく暑い日が続いていましたが、この日は丁度よい気温で、24名の方が参加しました。

記念撮影は、綾瀬川の河川敷に設けられた「あやせ新栄ビオトープ」にて。





草加市の新田駅を出発し、東武線に沿って歩くと間もなく綾瀬川が見えてきます。今回は、この川沿いをまっすぐに歩くシンプルなコースで、草加・八潮支部の方たちにもご参加いただきました。



外来生物クビアカツヤカミキリの対策として、サクラ並木の1本1本に青いネットが張られています。前支部長である加納副会長より、県内での被害の拡大状況などを教えていただきました。

←木くずとフンが混ざった被害木のフラス。被害拡大を防ぐために、見つけたら自治体に連絡し、とにかく早めに駆除してもらおうのが重要とのことです。



1時間半ほど歩き、メインの「あやせ新栄ビオトープ」に到着！
菅支部長よりビオトープの紹介をいただきました。



土手から下りて湿地や池のビオトープを観察しました。草加・八潮支部のお力で 2011 年につくられたビオトープで、希少な植物が自生している場所に、赤いテープを結んだ杭を立てて目印が付けられています。



土手の上のビオトープ。普段は入れませんが、管支部長に鍵を開けていただき、木道を歩いて中を観察しました。

草加・八潮支部、そして地元の中学校の子どもたちと一緒に守られているそうです。中学生がつくった小鳥の巣箱も架けられていました。



←ウマノスズクサの葉っぱを食べるジャコウアゲハの幼虫（左）、夏になると葉の表面が白くなるハンゲショウ（右）

こんな素晴らしいビオトープですが、今後、道路整備事業によって、道路や橋梁が真上を通り、大半が失われてしまうそうです。そういった問題についても教えていただきました。草加・八潮支部の皆様ありがとうございました。



ビオトープを過ぎた後は、「川口綾瀬の森」で小休憩をはさみ、東川口駅まで歩きました。皆さん、お疲れ様でした。